

Library

第 20 号

編集・発行

信州大学附属図書館

繊維学部分館

平成 8 年 7 月 19 日

* ————— * contents * ————— *

リヨン織物美術館所蔵展	感性工学科	山浦和男	(1)
電子的な図書館サービスの充実に向けて			
	附属図書館 情報サービス課長	浜崎修一	(4)
分館通信	告知版		(8)
	分館日誌		
編集後記			(11)
平成 8 年度受入備品図書目録 (4 月～6 月)			(12)

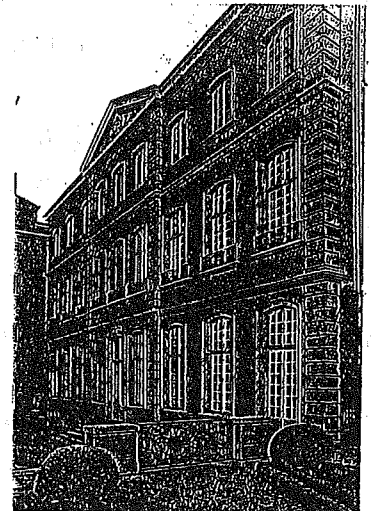
* ————— *

『リヨン織物美術館所蔵展』

感性工学科 山浦 和男

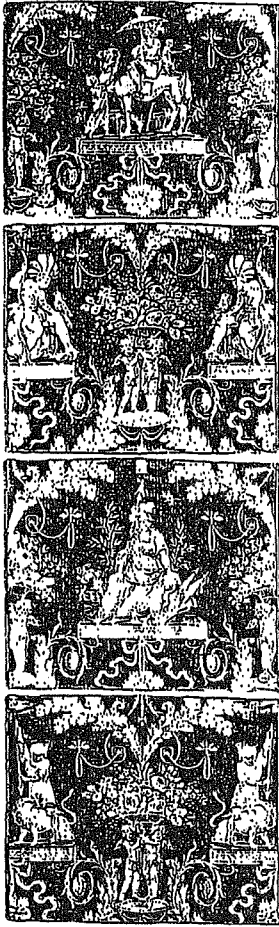
『Library』にはそぐわない内容ですが、本学図書館でも古い貴重な書籍が数多くあるようで、皆さんの常日頃の努力でロビーのガラスケースに一部のものが展示されており、常備数多くのものが展示できるよう、図書館と併設する博物館ができればと思います、拙い一文を掲載して頂きました。

きっかけは明確ではありませんが、本学に関係深い絹織物に関する『リヨン織物美術館 所蔵展：フランス絹織物



リヨン織物美術館

写真1



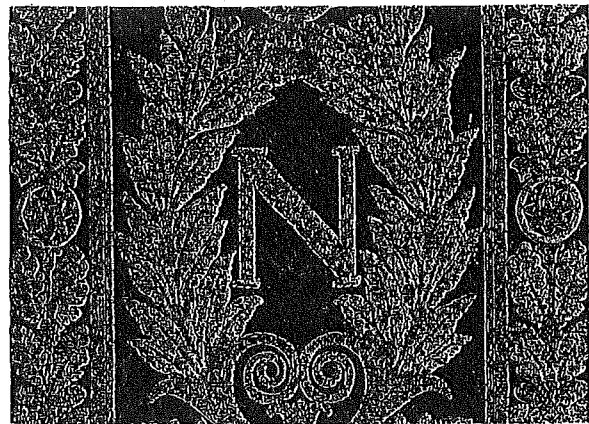
1737/1784年/ランバ リズレ サテン 絹糸/
43 x 54cm・46 x 55cm・46 x 55cm・46 x 55cm/
ヴェルサイユ宮殿マリー・アントワネットの私室の
ために製作された。

写真2

ほとんどリヨンで作られたとのこと。その時代の貴重な資料を保存するためリヨン織物美術館（写真1）が作られ、現在数多くのものが展示されています。また貴重な染織物の管理・保全にも力を入れ、傷んだものの修復をする専門官が多く常駐していると聞きます。全くうらやましい限りです。今回の主要な展示物は、リヨン織物美術館所蔵の絹織物125点（パネル形式）です。その中には、ヴェルサイユ宮殿のマリー・アントワネットの居室を飾った装飾布（写真2）、ヨーロッパ各国王室御用達の絹織物を中心に、当時の代表的な図案による物、色鮮やかな刺繍で構成した物などが含まれています。また帝政時代に属するテュイルリー宮殿王座の間の絹織物、ナポレオン一世御用達絹織物（写真3）など王室の威光を示す作品から、刺繍や優美なピロード作品、さらに今世紀の有名作家がデザイン

- 王朝芸術の精華』が8月10日（土）～25日（日）の16日間本校繊維学部講堂で行われることになり、いろいろ準備が進められてきました。しかし冷房施設や、自然光遮断など諸問題がでて、残念ですが会場が市内高砂殿に変更になりました。インターネットで調べたところ、国内にある大学1161校（短大も含め）で、博物館をもっている大学が139校あるそうです。そこには代表的な例として東京農工大学の繊維博物館が示されていました。京都工芸繊維大学にも立派な資料館があり、著名な画家が画いた大型ポスターの版刷りが沢山飾られています。我が繊維学部にも早急に博物館を作り、一般の人達に来館願ひ、我が繊維学部を知っていただく一つの機会にして頂ければと思います。同窓会『千曲会』も沢山の貴重な資料を毎年蒐集していますが、ほとんどお蔵入り（倉庫に保管中）です。有効に使って頂ければと思っています。

ところで今回の展示会は、上田によく似た町、かつて絹織物の産地として栄えたフランスのリヨンから来たものです。リヨンは、6月末開催された経済サミットで世界中から注目された町です。リヨンの絹織物産業は、王家お抱えのデザイナーの芸術性と織工の巧みな技術が合体して発展したようです。特に、18世紀フランスで栄華を極めたルイ王朝が好んで使った絹織物は、ほと



室内装飾用織物
1737/1804～06年/ランバ 織取り サテン/
131 x 55cm/
セントクラウド宮殿ナポレオン1世の部屋のカーテン。

写真3

した作品のパネルです。それ以外に18・19世紀の衣装3点もあわせ展示される予定です。

リヨンの絹織物産業のめざましい発展は、ジャカード機の出現がきっかけで、それを発明したのがリヨン生まれのジャカル（Joseph-Marie Jacquard）です。厚紙に規則正しい穴をあけ、それに従って縦糸を動作し、横糸を打ち込んで模様を作り出す織機で、織りスピードが画期的に速くなったことはよく知られています。ジャカード機は本学の『繊維教育実験実習棟』にもありますので興味のある方はご覧頂けたらと思います。ジャカード機に用いられるこのような穴あき用紙は、一時コンピューターでの計算ソフトのプログラム用紙としても用いられました。穴一つの打ち間違えで計算が全くできなくなることから、ソフトの構築は当然ながら、穴開けにも細心の注意が払われたとのことです。先日伊香保の『竹久夢二館』を訪問した折、隣接する『オルゴール館』にも立ち寄りましたが、空気を送って楽器をならず実演も見てきました。楽器はやはりヨーロッパの古いもので、客寄せ用のものとのことでしたが、穴の位置で音が変わるようになっており、曲に合わせて規則的に穴を開けた長い巻紙を用いての演奏でした。これもジャカード機を参考にしたものではないかと感じた次第です。今回の『リヨン織物美術館所蔵展』に、日本全国5ヶ所での展示の内の一ヶ所として上田が選ばれ、数多くの貴重な資料の中から代表的なものを選び、本邦初公開されています。上田開催は夏休みの期間中で、信州にお越しの知人も多いと思いますので、それらの方々をお誘いの上、ぜひご覧頂けたらと思います。入場料大人800円です。（写真は、展覧会説明用のパンフレットから転写しました。展示内容と同じ図録を図書館ロビーの閲覧ケースに展示しておきました。）

追記：繊維学部分館で閲覧容易なフランスの絹織物に関する解説書として、『ブリタニカ国際大百科事典』が挙げられる。「染織」という項目で17頁にわたって古今東西の織物が解説されている。グラビア印刷の頁には今回展示されるものと同種のリヨンの織物も載っている。（なお、『ブリタニカ』のよさについてはすでにLibrary第13号（平成6年10月）で篠原 昭先生が紹介されている。） （た）

参考文献として文化学園服飾博物館編『紋織の美と技 絹の都リヨンへ』（文化学園服飾博物館、1994.10）を購入いたしました。新着図書の棚に配架してありますので、こちらもお覧ください。



電子的な図書館サービスの充実に向けて

-- CD-ROM サーバシステムのサービスを開始 --

附属図書館情報サービス課 浜崎修一

jji3000@gipac.shinshu-u.ac.jp

はじめに

附属図書館では、本年度から CD-ROM サーバシステムのサービスを開始しました。そのシステムの紹介をするようにとの依頼を繊維学部分館から受けましたので、その概要と導入の意義などについて述べさせていただきますことにします。

CD-ROM サーバシステムとは

近年の電子技術の発達によって、一枚の CD に非常に多くの情報が収納されるようになりました。最近のパソコンは CD-ROM ドライブが内蔵されていて、画像データなどを簡単にディスプレイすることができるようになってきました。また、ここ数年の間に、各大学では学内 LAN が構築され、最近話題になっているインターネットにも簡単に接続して、世界を相手にした情報のやりとりがあたりまえのことになりつつあります。大容量、高速アクセス、マルチメディア対応など、CD-ROM がもっている特性に着目、これを媒体としてデータベースを構築し、学内 LAN などの情報通信ネットワークを介して遠隔利用できるようにしたものが CD-ROM サーバシステムです。

たとえば、これまでは、あるテーマにそって研究論文や雑誌記事などを探し出す時には、まず、冊子の形態で出版されている 2 次情報誌（索引や抄録など）を利用するか、利用料金を払ってオンラインで大型計算機センターや日本科学技術情報センターなどに接続し、そこで提供されているデータベースを検索することが必要でした。冊子体のものを利用する場合、図書館に出かけて来て、手間ひまをかけて索引を調べ、必要な情報の漏れがないようにしなければなりません。また、オンラインの場合、あらかじめ契約を結んでおかなければなりません（契約が必要ない場合でも事前の登録が必要）し、検索の時間や出力した件数などによって課金されますので、気軽にアクセス出来ない状況もあります。

これに対して、CD-ROM サーバシステムでは、図書館に設置されたサーバに研究室などから学内 LAN を経由して接続し、必要な情報を入手できます。操作は画面の指示に従ってだれでも簡単に検索でき、索引誌などではできなかった

多様な検索も可能になっています。また、検索結果をファイル転送や電子メールなどによりパソコンへ取り込んで、市販のデータベースソフトでこれを利用することもできます。今後のマルチメディア時代における情報入手の有効なツールのひとつとして注目を浴びているところです。

利用するには

本学のCD-ROMサーバシステムは、中央図書館にサーバが設置され、研究室や各分館のパソコンなどからSUNSを経由して、24時間、無料で検索可能になっており、時間や料金を気にすることはありません。

現在、このCD-ROMサーバシステムでは、次のようなデータベースを利用することができます。

- (1) PsycLIT 1974-
- (2) Sociofile/EBSCO 1974-
- (3) MathSci Disc 1940-
- (4) ERIC 1966-
- (5) Life Sciences Collection 1982-
- (6) Wilson-Biography Index 1984-
- (7) SPORT Discus 1975-
- (8) Wilson-Applied Science & Technology Index 1983-
- (9) F & S Index International Plus Text 1993-
- (10) Beilstein current fact in chemistry 1980-
- (11) 科学技術文献速報 ライフサイエンス編 1996-
- (12) " 化学/化学工業編(外国) 1996-
- (13) " " (国内) 1996-
- (14) " 電気工学編 1996-
- (15) " 管理/システム編 1996-
- (16) " 機械工学編 1996-
- (17) " エネルギー編 1996-
- (18) " 物理/応用物理編 1996-
- (19) " 環境公害編 1996-
- (20) 世界大百科辞典
- (21) OED2
- (22) CD-ASAX 50Yrs (朝日新聞記事見出し 1945-90)

(23) 日本経済新聞(全文記事) 1990-1995

(24) 雑誌記事索引 1985-95

(注: 1996年6月現在、一部分未整備のものがあります)

これらのデータベースは、動作するソフトウェアの違いにより2つに分かれます。ひとつは、ERLシステムと呼ばれるもので、上記のうち(1)~(9)を提供します。このシステムでは、CD-ROMで配布されるデータをサーバマシンであるUNIXのハードディスクに搭載して動作するため、非常に高速な検索を実現しています。もうひとつはNetWare/OPTI-NETシステムと呼ばれ、上記のうち(10)~(24)が対象となります。検索速度などは若干ERLよりも劣りますが、国内のデータベースを利用できます。

この2つのシステムは、利用するためのソフトウェアが異なりますので、接続するパソコンにはそれぞれのソフトウェアをインストールする必要があります。これらのソフトウェアはネットワークを介して(ftpなどを利用)無料で入手できますので、繊維学情報係へ申し込んでください。またフロッピーでも配布可能です。

各データベースの内容や検索の方法は、検索の途中で随時helpを参照できます。また、それぞれのユーザズマニュアルも用意されていますので、お問い合わせください。

様変わりする大学図書館

さて、このCD-ROMサーバシステムの導入は、少しおおげさかもしれませんが、これからの大学図書館サービスの在り方について、その方向を示していると言えましょう。

大学において、図書館は情報の蓄積場所としてもっとも重要な機関であり、これまでも、研究者と学生に対する情報提供サービスの中心的役割を果たしてきました。しかし、近年、学術情報が爆発的に増加しつつある中で、利用者が求める多種、多様な情報を、一つの図書館だけで提供することはできない状況になっています。また、本文で紹介したように、情報通信技術の発展によって情報もデジタルな形態で入手可能になってきており、今後ますます図書館資料の電子化が進展していくことは間違いないでしょう。

このような状況のもとで、今、大学図書館界は、電子図書館的機能の整備充実が喫緊の課題であると考え、重点的に取り組んでいます。

電子図書館的機能とは概略次のような特徴をもつものと考えられます。

- (1) 既に電子化されている CD-ROM などの電子的な情報資料を積極的に収集し、ネットワークを介して研究者などに提供する。
 - (2) これまで収集してきた貴重書や特殊なコレクションなどの貴重な所蔵資料について、可能な限りこれらの電子化を行い、ネットワークを介して提供する。
 - (3) 貴重資料などの電子化のみならず、研究者の電子出版活動への支援や学内の研究報告書などの電子化を支援する。
 - (4) インターネットの情報検索支援機能（ナビゲーション機能）を果たす。
- これらの機能を持つ未来の図書館「電子図書館」の実用化に向けて、文部省は学術情報センター及び奈良先端科学技術大学院大学に開発経費を予算化し、すでに、一部のサービスが試行段階に入っています。

本学でも、来年2月に導入予定の次期図書館システムにおける重点事項として、これらの機能の具体化を図りたいと考えているところです。

おわりに

現在、新制大学発足以来と言われる大学改革が進行していますが、この改革の動向の中で、図書館も学術研究の高度化や学習ニーズの多様化などに適切に対応しなければなりません。たとえば、教育改革の一環として魅力ある授業の展開やシラバスの作成などが様々な工夫がなされていますが、それらを実効あるものにするためには、図書館が無関係であってはならないのは当然です。また、ますます高度化する学術研究の情報基盤としての図書館機能の充実の必要性は、各種審議会において指摘されているところであります。我が信州大学においても各分館と中央図書館の連携を強め、全学的な観点で対応策を講じていくことが肝要かと考えます。今後とも図書館へのご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

最後に、今回の CD-ROM サーバシステムの導入に関しては、関係各位の特段の配慮をいただきました。ここにお礼を申し上げます。

追記：繊維学部分館には閲覧室に検索用端末を3台設置してあります。ご自由にご利用ください。検索方法等分からないことがございましたら、お気軽に係員にお尋ねください。

分館通信

告知版

⇒ 平成8年4月～6月までの寄贈図書・雑誌

(ここでは本学部教官・関係者から図書館に寄贈していただいた図書・雑誌を紹介します。)

- 【図書】 *松沢秀二先生より 「信越化学工業史」
「TOTOKU半世紀のあゆみ」
*鳥羽栄治先生より 「制御工学演習」
*山浦逸雄先生より 「制御工学演習」
- 【雑誌】 *鳥羽栄治先生より 電気学会雑誌 v.84 no.10-12(1964)
はじめ計28点
*山本 巖先生より Chemical engineering news v.70
はじめ計3点

⇒ 夏休みの特別貸出について

夏期休業中、以下の通り特別貸出を行います。

貸出開始 大学院生 平成8年7月5日(金)

学部学生 平成8年7月22日(月)

返却期限 平成8年10月1日(日)

*貸出冊数は通常通り

⇒ 夜間開館休止について

夏期休業中、夜間開館(平日の午後5時から8時まで)はお休みします。

休止期間は、8月5日(月)～9月30日(火)で、午後5時で閉館します。

⇒ 雑誌製本について

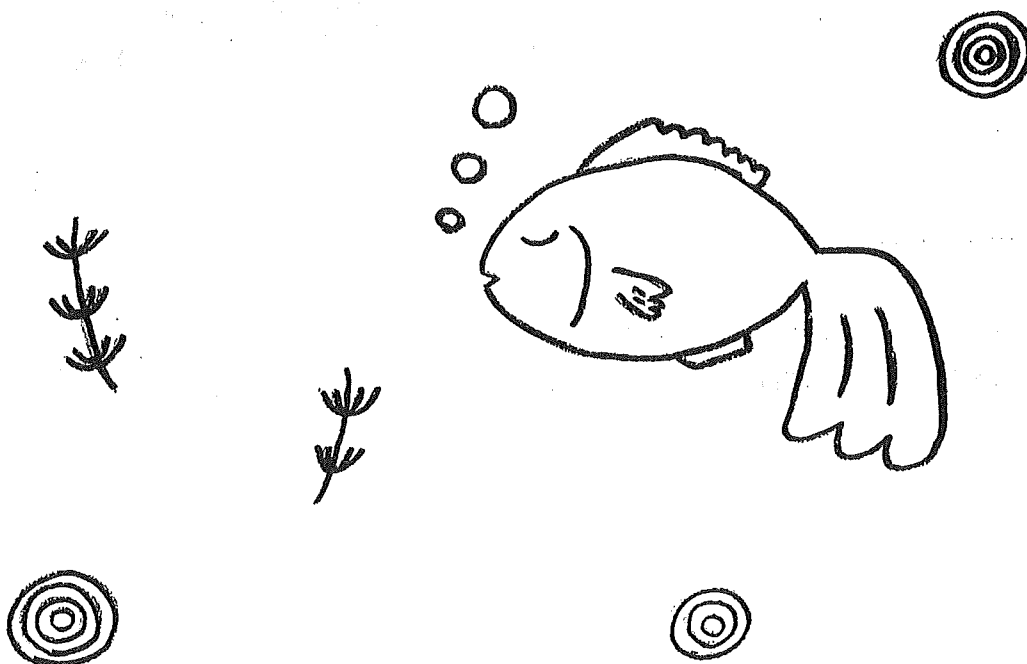
7月から雑誌製本の準備に入りました。本年度は和雑誌→洋雑誌の順に作業を進めていきます。製本雑誌、搬出日等が決まりましたら図書館入口の掲示板および図書館ホームページの図書館ニュース (URL: <http://shinlif1.shinshu-u.ac.jp/news.html>)でお知らせいたします。

⇒ 閲覧室に冷房が入りました

2階閲覧室に冷房が入っています。梅雨も明け、暑い日が続いていますが、涼しい環境をご活用ください。

⇒ 図書館ホームページのURL変更

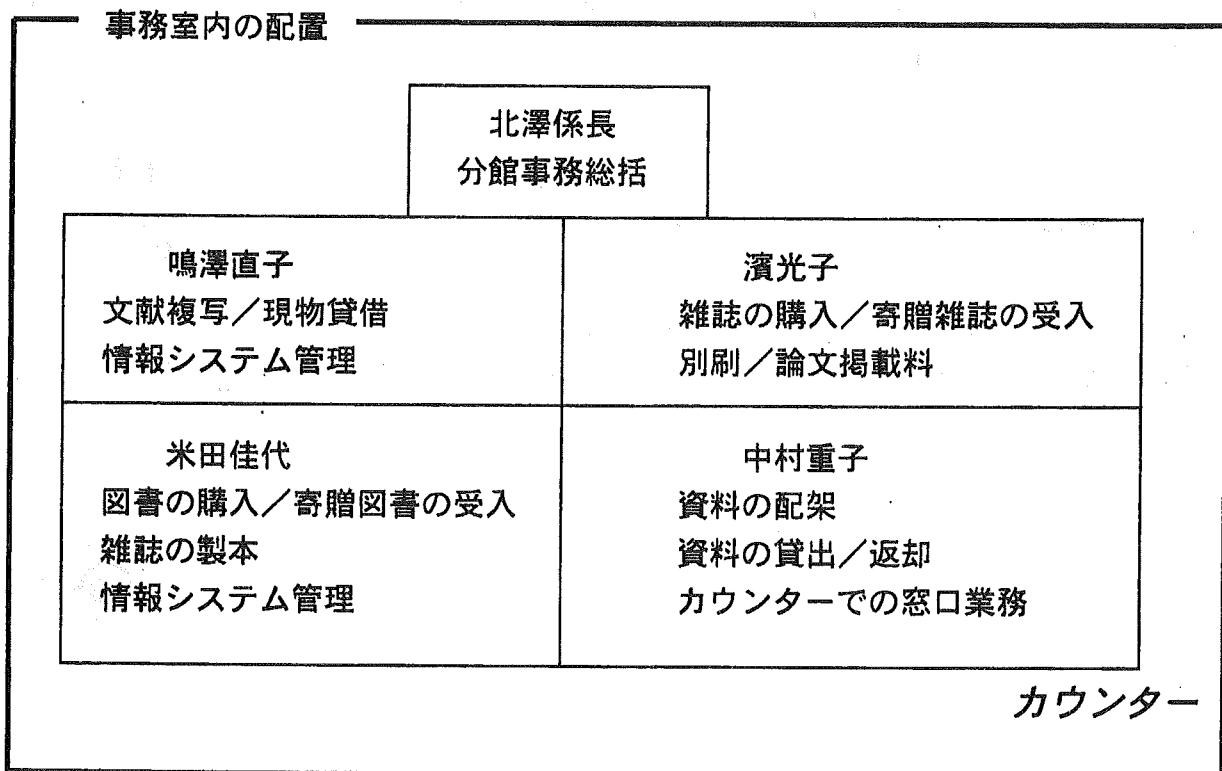
7月1日に図書館ホームページを引っ越しました。
新しいURLは <http://shinlif1.shinshu-u.ac.jp/> です。最新の情報はホームページをご覧ください。



⇒ 係員の職務分担

7月の人事異動により、織維学部分館の電子化（CD-ROMシステムの稼働、図書館ホームページの開設など）に尽力下さいました押見事務官が教育学部分館に転任されました。織維学部同様、教育学部でも一層ご活躍されることと思います。我々も、新しいスタッフを迎えて今まで以上に頑張ってみますので、よろしくお願いいたします。

なお、人事異動に伴い係員の職務分担を一部変更しました。



図書館の利用案内、各種検索端末の操作方法、資料の所蔵の確認などは、従来通り係員全員が担当しますので、お気軽にお尋ねください。

分館日誌（4月～6月）

*4/17 第1回図書委員会 *5/7 図書館運営委員会（松本）出席者-中沢分館長、成田運営委員、北澤係長 *5/7 図書係長会議（松本）出席者-北澤係長
*5/9 第2回図書委員会（紙上協議） *5/30 第3回図書委員会 *6/11
-6/13 目録システム地域講習会（金沢大学）出席者-米田 *6/13 図書係長
会議（松本）出席者-北澤係長 *6/27 第4回図書委員会



編集後記

7月も下旬に入ろうとしており、いよいよ夏らしい暑い日が続いています。
今回は8月の『リヨン織物美術館所蔵展』に際し、山浦和男先生に展示会の紹介をしていただきました。本学部講堂で行われる予定が変更になってしまったのは残念ですが、貴重な展示品を身近で知ることができる絶好の機会ですので是非出掛けてみられてはいかがでしょうか。また、浜崎情報サービス課長には、6月から本格的に稼働し始めたCD-ROMシステムについて解説していただきました。情報の多量化／多様化、それに伴う情報媒体の多様化も近年めざましいものがあり、図書館も従来のような出版物の管理だけでなく、情報の収集／管理を行う情報館としての機能が強く求められています。今回のCD-ROMシステムの導入もそんな流れの中への大きな第1歩となるのではないのでしょうか。お二方にはお忙しい中、興味深いお話をお寄せいただきまして誠にありがとうございました。この場を借りまして、心より御礼申し上げます。

次号は10月の発行を予定しています。ご意見・書評など何でも結構です。係員か、もしくはE-mailでの寄稿もお待ちしています。

E-mail アドレスはjfg0100@giptc.shinshu-u.ac.jp です。

平成8年度受入図書目録（備品）
平成8年4月～6月

★ 学生用（図書館にあるもの）

書名	編著者	発行所	配架場所
朝日年鑑 1996年版		朝日新聞社	参考
幾何入門	砂田利一	岩波書店	開架
解析力学と微分形式	深谷賢治	岩波書店	開架
思考	中島秀之 ほか	岩波書店	開架
認知科学の基礎	橋田浩一 ほか	岩波書店	開架
絵農書	佐藤常雄 ほか	農山漁村文化協会	開架
代数入門	上野健爾	岩波書店	開架
力学と微分方程式	高橋陽一郎	岩波書店	開架
注意と意識	安西祐一郎 ほか	岩波書店	開架
紋織の美と技 絹の都リヨンへ	文化学園服飾博物館	文化学園服飾博物館	開架

★ 教官用（研究室にあるもの）

配架場所の敬称略 / 受入日順

書名	編著者	発行所	配架場所
Biodegradable polymers and packings	Chauncey Ching	Technomic Pub.	松沢
Starch	Roy I. Whistler	Academic Press	松沢
マルチメディアハンドブック マグロウヒル 翻訳版	Jessica Keyes	フジ・テクノシステムズ	鳥羽
岩波生物学辞典 第4版	八杉龍一 ほか	岩波書店	森川
生物と運動 バイオメカニクスの探求	R. マクニール・アレクサンダー	日経サイエンス社	森川
福祉工学		産業図書	森川
スポーツ実験マニュアル	近藤政生 ほか	技報堂出版	関口
非線形有限要素法の基礎と応用	久田俊明 ほか	丸善	鮑
幾何入門	砂田利一	岩波書店	鈴木昭
分子磁性 新しい磁性体と反応制御	伊藤公一	学会出版	平井
フェンティプラマダイナミクス	R.O. Denay	講談社	佐藤
化学工学物性定数 第17巻	化学工学協会	化学工業社	新井
新編英和活用大辞典	市川繁治郎	研究社	松本
リーダーズ英和辞典	松田徳一郎	研究社	松本
X線結晶解析の手引き	桜井敏雄	裳華社	英
解析力学と微分形式	深谷賢治	岩波書店	鈴木昭
幾何入門	砂田利一	岩波書店	森川
解析力学と微分形式	深谷賢治	岩波書店	森川
水環境の基礎科学	Edward A. Laws	技報堂出版	渡辺
グライナー-量子力学	W. グライナー	シュプリンガー・フェアラーク東京	鈴木昭
固体の電子論	欺波弘行	丸善	鈴木昭

酵素実験法 2
 運動力学
 スポーツとスキル
 跳ぶ科学
 代数入門
 力学と微分方程式
 図でわかる電磁気学
 現代化学
 一般化学
 色彩の基礎 芸術と科学
 色彩と人間
 人間の情報処理と生理心理学
 数理解物理学の方法 1
 数理解物理学の方法 2
 数理解物理学の方法 3
 数理解物理学の方法 4
 液晶の物理学
 われ思う、故に、われ間違う
 錯誤と創造性
 ゲーデル再考 人と哲学
 DNAに魂はあるか 驚異の仮説
 脳の計算理論
 進化遺伝学
 Quantum coherence in mesoscopic
 Integrated chemical systems
 The merck index : an encyclope-
 dia of chemicals, drugs, and
 biologicals 12ed.
 Spectra of atoms and molecules

 エネルギーと環境
 Cytochrome 450: structure, mech-
 anism, and biochemistry 2nd ed.

大野素徳 ほか
 渋川侃二
 宮下充正
 深代千之 ほか
 上野健爾
 高橋陽一郎
 伊藤彰義
 大学自然科学教育研究会
 竹本喜一 ほか
 川添泰宏
 武井邦彦
 松田俊
 R..クーラン.D.ヒルベルト
 R..クーラン.D.ヒルベルト
 R..クーラン.D.ヒルベルト
 R..クーラン.D.ヒルベルト
 S.チャンドラセカール
 ジョン=ピエール・ランタン

 ハオ・ワン
 F.クリック
 川人光男
 ジョン・メイナード=スミス
 B.Kramer
 Allen J.Bard
 Susan Budavari

 Peter F. Bernath

 地球環境時代におけるエネルギー産業技
 術会議
 Paul R. Ortiz de
 Montellano

廣川書店
 大修館書店
 大修館書店
 大修館書店
 岩波書店
 岩波書店
 講談社
 東京数学社
 丸善
 美術出版社
 時事通信社
 多賀出版
 東京図書
 東京図書
 東京図書
 東京図書
 吉岡書店
 産業図書

 産業図書
 講談社
 産業図書
 産業図書
 Plenum Press
 Wiley
 Merck

 Oxford University
 press
 産業技術会議
 Plenum Press

志田
 中沢
 中沢
 中沢
 森川
 森川
 小西
 平林
 平林
 佐渡山
 佐渡山
 佐渡山
 鈴木昭
 鈴木昭
 鈴木昭
 鈴木昭
 鈴木昭
 鈴木昭
 鈴木昭
 鈴木昭
 鈴木昭
 鈴木昭
 鈴木昭
 鈴木昭
 鈴木昭
 鈴木昭
 鈴木昭
 張
 平井

 渋谷
 白井
 小駒

